

北陵だより

川西市立北陵小学校
校長 田 中 薫

学校評価アンケート結果

2学期末にご協力いただいた学校評価アンケートの結果を報告いたします。

学校評価は、学校教育目標に迫るための様々な教育活動（取り組み）に対して、学校が行う自己評価の資料として、保護者の皆様、子どもたちに回答をお願いしています。

学校が目指す子ども像はこれでよいのか、そのための手立てとして、今年度実施した教育課程は適切であったか、その結果子どもたちの育ちはどうであったのか等、保護者の皆様、子どもたち自身の回答状況から考察し、教職員の回答（意識）と併せて取り組みを振り返るものとしています。その結果から今年度の反省と次年度への課題を明らかにし、改善に向けた取り組みへと繋げていく所存です。また、学校評議員の皆様には、客観的な視点でご助言をいただく予定です。

自由記述に関して、学校の対応、教職員個々に対するご意見・ご感想につきましては、全職員が目にした上で、保護者様の受け止め方として自らの取り組みについて振り返る資料とさせていただきます。しかし、ご記入いただいたご意見すべてを次年度に、または全体に反映することが難しい場合もございますので、ケースバイケースとなることをご了承ください。個別の対応等をご相談させていただきたいと考えています。

ご心配等がございましたら、学校評価アンケートまでもなく、随時遠慮なく学校までご連絡いただきますよう、これからお願いいたします。



「学校との距離を感じる1年でした」という記述がありました。

正に、コロナ禍、PTAの改革の流れ等により、学校と保護者、双方の思いを交流したり、確認したりする場が少なくなった、少なからざるを得なかった状況であったと感じます。学校としての様々な取り組みの拠り所となるのは、保護者様や地域の皆様のご理解やご協力です。当たり前の日常が脅かされる事態となり、対する取り組みが学校の独りよがりになっていないか、と絶えず立ち位置を確かめる毎日の中で、保護者の皆様一人ひとりと繋がるために、保護者様の総意としてPTAが学校と繋がり、子どもたちのために必要により良い取り組みを相談し、実施に繋げることがPTA活動であると感じます。保護者様や地域の皆様と力を合わせる、協働する必要性を強く意識づけられた一年でした。



PTA、地域ボランティアに関するご意見は、それぞれPTA、地域にお伝えいたします。

最後になりましたが、ご意見、ご指摘以外に、教職員に対するたくさんの労いのお言葉、学校運営に関するご理解のお言葉をいただいています。保護者の皆様とともに、子どもたちに寄り添い、導けるよう努力していく所存です。今後とも、ご理解、ご協力をお願いいたします。

アンケート結果

○肯定的回答（「そう思う」、「どちらかというと思う」）の割合（％）を「達成度」としました。

○また、各回答状況から「そう思う」3点、「どちらかというと思う」2点、「どちらかというと思うわない」1点、「そう思わない」0点とし、各項目ごとの平均値をスコア値として算出。

スコア値から、次のように評価づけました。

満足：2.50～3.00 本校の教育活動に対する満足度が高いものとして、次年度に引き継ぐ

良好：2.00～2.49 満足度は高いが、一部に課題がある

課題：0.00～1.99 次年度の課題として、改善を図る必要がある

○結果分析、次年度に向けて、また大項目ごとに学校評議員さんからの意見をいただきます。

○資料として添付した円グラフは、次の回答状況をそれぞれ％で表示しています。

そう思う



どちらかというと思う



どちらかというと思うわない



そう思わない



《学校運営・教育課程》

①めざす子ども像

	【保】	【児】	【教】
達成度	94	91	100
スコア	2.44	2.39	2.37
評価	良好	良好	良好

【保護者】児童が自分で考え、行動する力を育てるために指導の工夫をしている。

【児童】授業では、自分の考えを話したり相手の考えを聞いたりして、積極的に取り組んでいますか。

【教職員】学習において、児童が自分で考え行動する力を育てるために指導を工夫している。

②わかる授業

	【保】	【児】	【教】
達成度	95	93	100
スコア	2.47	2.55	2.52
評価	良好	満足	満足

【保】指導の工夫や改善を図り、わかる授業づくりに取り組んでいる。

【児】学校の授業は、よく分かりますか。

【教】指導の工夫や改善を図り、わかる授業づくりに取り組んでいる。

《良好》

研修部を中心に、前年度に引き続き社会科を教科研究の柱にし、「主体的に」学ぶ授業づくりを継続させながら、今年度は「対話的」な授業を目指して研修を行ってきました。コロナ禍で「対話」を控える場面も多かったのですが、自分の考えを言葉や文章で伝えることを意識した授業づくりを行いました。また、ICT 機器を積極的に活用する等、視覚的に子ども達が理解しやすい授業を心がけてきました。

保護者のアンケート結果の内訳を見ると、前年より「そう思う」の強い肯定が①+6P、②+7Pと上昇し、全体の約半数を占めていました。しかし、「どちらかという～」の割合も半数近いため、よりはっきりとした成果に結びつくよう努めるとともに、広く周知することが必要であると感じます。児童のアンケート結果では、コロナ禍で話し合いを控えていることもあり、前年度並みで改善に至っていません。この状況の中でも、わかりやすい授業、主体的・対話的で深い学びをさらに目指していきたいと考えています。

- ・社会科の研究については、研修部を中心により深い学びにつながるよう研究を続けていきます。
- ・タブレットも導入され、ICT 機器を利用した授業をさらに進めていく必要があります。使わなければ、と思って使うのではなく、子どもたちの学びの手助けになるよう、適切に使う方法を考えていかなければならないと感じ、研修部を中心に考えていきます。

③特色ある教育活動

	【保】	【児】	【教】
達成度	96	92	92
スコア	2.70	2.63	2.52
評価	満足	満足	満足

【保】ファミリー活動や異学年交流の活動を通して、豊かな心の育成に取り組んでいる。

【児】ファミリー活動や他の学年の人と行う活動は楽しいですか。

【教】豊かな心の育成のために、ファミリー活動や異学年交流の活動に積極的に取り組んでいる。



《満足》

今年度は十分にファミリー活動の時間も取れなかったのですが、できる範囲で活動を続けてきました。事前準備が不要なファミリー遊びを複数回取り入れるなど、工夫して活動時間を確保しました。スタンプラリー大会においては、運営を子ども主体に変えたことで、達成感を得て「楽しかった」という声も多かったようです。

- ・ファミリー活動は回数を増やしたり、遊び内容を工夫したりして、より仲良くなれる内容にしていきたいと思います。
- ・ファミリー活動以外にも、他学年との交流を授業の中で取り入れていきたいと考えています。

④行事・特別活動の充実

	【保】	【児1】	【児2】	【教】
達成度	93	91	95	96
スコア	2.51	2.42	2.64	2.48
評価	満足	良好	満足	良好

【保】学校行事を通して、互いに認め合い、支え合う集団作りに努めている。

【児1】行事を通して、友だちのよいところに気づいたり、助け合ったりしましたか。

【児2】学級や学年、学校をよくするために自分の仕事や役割をしっかりと行っていますか。

【教】学校行事を通して、互いに認め合い、支え合う集団づくりに努めている。

《満足》

学校行事を縮減せざるを得ない状況の中、保護者にとってはアンケートに答えづらい面があり、「思う」の強い肯定が前年度より-10Pとなりました。運動会では体育の表現参観という形で行い、感染症対策をしながら学年ごとに日を変えて行う等、できることを考えて実施できたと思います。当日は、密にならず、ゆっくりと演技を参観することができ、いつも通りできない中でも方法を工夫して実施したことで、一定の評価を得ることができたと思われます。

・コロナ禍の状態が続くと考えて、行事の内容や対策の方法をできるだけ早く、工夫して実施したいと思います。

《人権教育・特別支援》

⑤人権教育・特別支援教育

	【保】	【教】
達成度	86	93
スコア	2.28	2.48
評価	良好	良好

【保】児童の人権を尊重し、一人ひとりの特性に応じて適切な配慮をしている。

【教】児童の人権を尊重し、特性に応じて適切な指導をしている。

《良好》

今年度は、例年重視している福祉体験学習や、感染症による差別や偏見の防止のための人権学習に、学校再開時からより多くの時間を割いて取り組みました。人権参観が実施できなかったため、直接観て感じていただくことができず、評価がしにくかったことと思われます。設問の「一人ひとり」の文言により、学校としての取り組みや実践の評価よりも、ご自分のお子さまへの直接的な対応についての回答が多くなったと思われます。

・学校や担任が行っている取り組みや、児童一人ひとりに対する配慮について、望ましい対応を図るためにも、より一層保護者と連絡を密にして共通理解をしていく必要があると考えています。設問については、北陵小の人権教育、特別支援教育としての取り組みについて、ご回答いただけるよう検討いたします。

《生徒指導》

⑥安全安心な学校

	【保】	【児】	【教】
達成度	94	91	93
スコア	2.68	2.58	2.33
評価	満足	満足	良好

【保】児童は、楽しく学校に通っている。

【児】学校は、楽しいですか。

【教】児童は、楽しく学校に通っている。

《満足》

前年度に引き続き、高い評価が得られました。教師にとっては、様々な教育活動に制限があり例年以下の活動となったことを思って、評価が良好にとどまっていますが、そんな中でも日々の授業やクラスでの活動に、楽しみを得られるよう指導の工夫をしてきたことに評価を得ているようです。

・今年度の取り組みを継続します。

⑦基本的な生活習慣・規範性

	【保】	【児】	【教】
達成度	69	88	52
スコア	1.88	2.33	1.52
評価	課題	良好	課題

【保】児童は、あいさつをしっかり行っている。

【児】先生や友達、地域の人などに進んであいさつをしていますか。

【教】児童はあいさつをしっかり行っている。

《課題》

児童会や生活指導委員会などであいさつ運動を実施し、意識を高めようとしていますが、なかなか向上できていません。習慣として定着していないため、校門以外の場所ではあいさつを返せない児童も多いようです。自分ではできているという意識の児童が多いことから、あいさつに対する捉え方が違っていることが大きな課題となっています。

・朝の校門でするあいさつは、声も大きく人数も増えているのですが、様々な場面で先生、保護者、地域の人と出会ったらするものという意識に変える必要があります。生活指導委員会でさらに検討していきます。

⑧教育相談・児童理解

	【保】	【児】	【教】
達成度	73	87	85
スコア	2.03	2.40	2.26
評 価	良好	良好	良好

【保】児童の悩みや子育ての不安について学校に相談しやすい。
 【児】困ったことや悩みを 先生や友達に相談できますか。
 【教】児童の悩みや保護者の子育ての不安について、支援するような教育相談に努めている。

《良好》

昨年度に引き続き、学校に相談しやすいという項目の評価が低く、内訳の割合もほとんど変わっていません。昨年度の反省から、生活アンケートの後に子どもと面談を行い、その後の様子を注意深く見守るようにしましたが、改善に至っていないと感じます。特に、今年の状況もあり、学校との間に距離を感じてしまった、という意見があったことを常に意識しておく必要があると考えます。

・呼びかけ、努めるだけでは改善できないと感じ、より良い取り組みを検討します。

⑨生徒指導・教育相談体制

	【保】	【教】
達成度	83	100
スコア	2.16	2.48
評 価	良好	良好

【保】学校は、いじめ・不登校への組織的な対応を行うため、家庭との連携に努めている。
 【教】いじめ・不登校への組織的な対応を行うため、家庭との連携や信頼関係の構築に努めている。

《良好》

前年度よりも「どちらかという」と思わないが-8P、思うが+6P、全体に見ても肯定的な回答が+6P で、評価は少し高くなりましたが、まだまだ課題があると感じられます。各委員会や職員会議で児童の様子を交流、共通理解し、対応の仕方を協議してきましたが、日常的な指導の中で組織的な連携が不足しているものと反省しています。

・連絡が遅れたり、担任によって対応が違ったりすることがあったことが、評価に表れていると感じます。場合によりますが、担任だけでなく複数対応、学年対応等、組織的に対応していく必要があると考えます。初期対応の大切さを意識し、小さなことでも学年教師で相談したり、連絡したりする雰囲気醸成したいと存じます。

《施設・環境》

⑩教育環境の整備

	【保】	【児】	【教】
達成度	89	85	92
スコア	2.40	2.34	2.19
評 価	良好	良好	良好

【保】学校は、校内整備に努め、安全な学校環境を整えている。
 【児】身の回りの整とんや掃除が、きちんとできていますか
 【教】校内整備に努め、安全な学校環境を整えている。

《良好》

トイレを新しくしてほしい、という自由記述が多くありました。お掃除ボランティアの募集を通して、環境の改善を目指している取り組みに理解が広がったのか、「そう思う」強い肯定が+9P となりました。掃除の取り組みに関しては、まだまだ私語が目立ちます。学校全体で掃除を集中してするような取り組みを考えたいと存じます。

・トイレに関しては、来年度乾式化、洋式化の予定となっています。それ以外の部分でも、修繕や整理を早急に行い、自然に物を大切にする、気持ちよく使おうとする心を育てるため、環境整備を進めていきます。

《安全指導・危機管理》

⑪安全管理

	【保】	【児1】	【児2】	【教】
達成度	91	81	83	74
スコア	2.52	2.53	2.22	1.93
評 価	満足	満足	良好	課題

【保】学校は、児童の安全に配慮し、緊急体制を整えている。

【児1】登下校時には、交通ルールを守り安全に注意していますか。

【児2】校舎内では、暴れたり廊下を走ったりすることなく安全に注意して生活していますか。

【教】学校内外における不測の事態に対応するための体制を整えている。

《良好》

「緊急体制を整えている」項目の評価が、昨年度よりも高くなっています。感染症対策などで、目に見え
る形で緊急体制をとる場面が多かったことが、評価につながっていると考えられます。

校舎内での過ごし方については、密にならないよう、声かけも含めて行ってきましたが、継続して声をかけ
ていく必要があると考えます。教師は「不測の事態」の想定を広く考えて、評価が低くなっているようです。

- ・感染症対策など、これからも具体的な対策について学校から積極的に発信したいと考えています。

《地域連携・開かれた学校》

⑫家庭・地域連携

	【保】	【児】	【教】
達成度	93	93	78
スコア	2.47	2.66	2.00
評 価	良好	満足	良好

【保】学校は、家庭・地域の方々と連携して教育活動に取り組んでいる。

【児】お家の方や、地域の人と一緒にいる活動は楽しいですか。

【教】保護者や地域の方々と連携して教育活動に取り組んでいる。

《良好》

様々な地域行事が中止になってしまったり、PTA の体制が変わったりしてきた中で、戸惑う保護者もお
られる。保護者の方の一部の人に負担がかかっている、という意見もありました。

- ・コミュニティスクールを念頭に、保護者に協力を仰ぐ場面を精査し、地域の協力を得ながら進めてい
きたいと考えます。子どもたちのために、学びを深める、学校生活を充実させることを最優先に考え、進めて
いきたいと存じます。

⑬学校情報の発信

	【保】	【教】
達成度	96	100
スコア	2.62	2.67
評 価	満足	満足

【保】学校は、学校便りや学年便り、HP 等を通して、学校経営方針や
教育活動の様子について伝えている。

【教】学年だより、連絡帳等を通して、学級経営方針や教育活動の様子
について伝えている。

《満足》

学校だよりやホームページの更新を通して、学校の様子や学習のねらいを発信し、保護者に伝えることに
一定の成果があったと考えます。

- ・今年度の取り組みを継続し、子どもの姿が見えるよう工夫していきたいと考えます。

《業務改善》

	⑭【教】	⑮【教】
達成度	67	45
スコア	1.85	1.48
評 価	課題	課題

⑭業務改善の工夫や効率化

【教】児童と向き合う時間の確保のために、業務改善の工夫や効率化に
取り組んでいる。

⑮定時退勤

【教】定時退勤日には、早めの退勤を心がけるなど、ワークライフバラ
ンスに留意している。

《課題》

今年度は、校外への出張の縮減、研修会のリモート開催、校内行事の縮減により、時間的にゆとりを持っ
て教材研究等の授業準備ができ、退勤時刻も若干早まりました。反面、感染症拡大の状況に合わせて行事計
画の見直し、検討のための会議が増えました。また、教職員の日常の業務に加え、感染症に対する危機感
を持って教育活動にあたる精神的な負担も大きかったように感じます。机椅子、共用部の消毒作業、感染症
拡大防止を考慮した新しい学校生活様式の実施に関する業務が増える中、地域学校協働活動による放課後
清掃ボランティア、保護者、コミュニティの支援がとて有り難く、業務改善の一助となっています。

- ・例年よりも余裕のない教育課程編成により、授業進度の調整や教材研究を念入りに行う必要があったこと
から業務改善に繋がりにくい状況がありました。with コロナの生活を念頭に、さらに工夫や効率化を進め
たいと考えています。

R2学校評価 アンケート集計結果

項目	No.	保護者	児童	教職員
学校運営 教育課程	1	児童が自分で考え、行動する力を育てるために指導の工夫をしている。	授業では、自分の考えを話したり、相手の考えを聞いたりして積極的に取り組んでいますか。	学習において、児童が自分で考え行動する力を育てるために指導を工夫している。
	子ども像			
	2	指導の工夫や改善を図り、分ける授業づくりに取り組んでいる。	学校の授業は、よく分かりますか。	指導の工夫や改善を図り、わかる授業づくりに取り組んでいる。
	わかる授業			
	3	ファミリー活動や異学年交流の活動を通して、豊かな心の育成に取り組んでいる。	ファミリー活動や他の学年の人と行う活動は楽しいですか。	豊かな心の育成のために、ファミリー活動や異学年交流の活動に積極的に取り組んでいる。
	教育特色あふれる			
	4	学校行事を通して、互いに認め合い、支え合う集団づくりに努めている。	行事を通して、友だちのよいところが見ついたり、助け合ったりしましたか。	学校行事を通して、互いに認め合い、支え合う集団づくりに努めている。
人権教育 特別支援	学校行事・体験学習の充実			
	5	児童の人権を尊重し、一人ひとりの特性に応じて適切な配慮をしている。	学級や学年、学校をよくするために自分の仕事や役割をしっかりと行っていますか。	児童の人権を尊重し、特性に応じて適切な指導をしている。
	特別人権支援教育			
生徒指導	6	児童は、楽しく学校に通っている。	学校は、楽しいですか	児童は、楽しく学校に通っている。
	安全安心な学校			
	7	児童は、あいさつをしっかりと行っている。	先生や友達、地域の人などに進んであいさつをしていますか。	児童はあいさつをしっかりと行っている。
	規範的な生活習慣			
	8	児童の悩みや子育ての不安について学校に相談しやすい。	困ったことや悩みを先生や友達に相談できますか。	児童の悩みや保護者の子育ての不安について、支援するような教育相談に努めている。
	児童教育相談			
	9	学校は、いじめ・不登校への組織的な対応を行うため、家庭との連携に努めている。	いじめ・不登校への組織的な対応を行うため、家庭との連携や信頼関係の構築に努めている。	
	教育生相談指導体制			

施設・環境	10	学校は、校内整備に努め、安全な学校環境を整えている。	身の回りの壁とんや掃除が、きちんとできていますか。	校内整備に努め、安全な学校環境を整えている。
	教育環境の整備	☐ そう思う ☐ どちらかといえばそう思う ☐ どちらかといえばそう思わない ☐ そう思わない	☐ そう思う ☐ どちらかといえばそう思う ☐ どちらかといえばそう思わない ☐ そう思わない	☐ そう思う ☐ どちらかといえばそう思う ☐ どちらかといえばそう思わない ☐ そう思わない
安全指導 危機管理	11	学校は、児童の安全に配慮し、緊急体制を整えている。	登下校時には、交通ルールを守り安全に注意していますか。	学校内外における不測の事態に対応するための体制を整えている。
	安全管理	☐ そう思う ☐ どちらかといえばそう思う ☐ どちらかといえばそう思わない ☐ そう思わない	☐ そう思う ☐ どちらかといえばそう思う ☐ どちらかといえばそう思わない ☐ そう思わない	☐ そう思う ☐ どちらかといえばそう思う ☐ どちらかといえばそう思わない ☐ そう思わない
地域連携 開かれた学校	12	学校は、家庭・地域の方々と連携して教育活動に取り組んでいる。	お家の方や、地域の人と一緒に行う活動は楽しいですか。	保護者や地域の方々と連携して教育活動に取り組んでいる。
	地域・家庭・連携	☐ そう思う ☐ どちらかといえばそう思う ☐ どちらかといえばそう思わない ☐ そう思わない	☐ そう思う ☐ どちらかといえばそう思う ☐ どちらかといえばそう思わない ☐ そう思わない	☐ そう思う ☐ どちらかといえばそう思う ☐ どちらかといえばそう思わない ☐ そう思わない
	13	学校は、学校便りや学年便り、HP等を通して、学校経営方針や教育活動の様子について伝えている。		学年だより、連絡帳等を通して、学校経営方針や教育活動の様子について伝えている。
	学校情報の発信	☐ そう思う ☐ どちらかといえばそう思う ☐ どちらかといえばそう思わない ☐ そう思わない		☐ そう思う ☐ どちらかといえばそう思う ☐ どちらかといえばそう思わない ☐ そう思わない
業務改善	14			児童と向き合う時間の確保のために、業務改善の工夫や効率化に取り組んでいる。
	工夫・効率化の業務改善			☐ そう思う ☐ どちらかといえばそう思う ☐ どちらかといえばそう思わない ☐ そう思わない
	15			定時退勤日には、早めの退勤を心がけるなど、ワークライフバランスに留意している。
	定時退勤			☐ そう思う ☐ どちらかといえばそう思う ☐ どちらかといえばそう思わない ☐ そう思わない